

【重点分野－3】連合「なんでも労働相談ホットライン」(☎0120-154-052)
2021年7月 相談集計報告

○全体の特徴

■全体で1,109件の相談が寄せられ、昨年の1,499件より390件減少した。年代別では、2020年5月より連続して40代、50代が半数以上を占めている。

■業種別では、「医療、福祉」が4月以来3か月ぶりに1位の162件(20.1%)となり、先月と比較して1.1ポイント減。運輸業および建設業からの問い合わせが、先月に比べ2ポイント以上増加した。

■相談内容別では、「パワハラ・嫌がらせ」(181件・16.3%)が最も多く、「雇用契約・就業規則」(118件・10.6%)、「解雇・退職強要・契約打切」(104件・9.4%)と続いた。

■具体的な相談では、中国にある日系企業で働く中国人の方から、「パワハラを受けているが、取り合ってくれない。本社に相談すべきか。」といった相談や、病院で働く方から、「賃金が安いので、ダブルワークをしたいのだが上司が認めてくれない」といった相談が寄せられた。

		2021年			2020年		
集計対象期間		7月1日～7月31日			7月1日～7月31日		
受付件数(受付件数のみ報告分含)		1,109			1,499		
報告(本部・地方)数		48			48		
項目	内容	件数	割合	内容	件数	割合	
性別 (未報告除く)	男性	552	49.8%	男性	712	47.5%	
	女性	556	50.1%	女性	784	52.3%	
	その他	1	0.1%	その他	3	0.2%	
年代 (不明除く)	10代	4	0.5%	10代	11	1.3%	
	20代	107	14.4%	20代	92	10.5%	
	30代	156	21.0%	30代	142	16.2%	
	40代	195	26.3%	40代	256	29.2%	
	50代	183	24.7%	50代	239	27.3%	
	60代	72	9.7%	60代	106	12.1%	
	70代	25	3.4%	70代	30	3.4%	
雇用形態 (未報告除く)	正社員	575	51.8%	正社員	701	46.8%	
	パートタイマー	179	16.1%	パートタイマー	282	18.8%	
	アルバイト	52	4.7%	アルバイト	81	5.4%	
	契約社員	86	7.8%	契約社員	135	9.0%	
	臨時・非常勤職員	7	0.6%	臨時・非常勤職員	10	0.7%	
	嘱託社員(再雇用含)	21	1.9%	嘱託社員(再雇用含)	18	1.2%	
	派遣社員	74	6.7%	派遣社員	103	6.9%	
	その他	115	10.4%	その他	168	11.2%	
業種(上位) (不明除く)	1位	医療、福祉	162	20.1%	サービス業(他に分類されないもの)	182	17.9%
	2位	サービス業(他に分類されないもの)	152	18.9%	医療、福祉	171	16.8%
	3位	製造業	105	13.0%	製造業	149	14.7%
	4位	卸売・小売業	102	12.7%	卸売・小売業	120	11.8%
	5位	運輸業	78	9.7%	飲食店、宿泊業	94	9.2%
相談内容(上位) (未報告除く)	1位	パワハラ・嫌がらせ	181	16.3%	パワハラ・嫌がらせ	221	14.7%
	2位	雇用契約・就業規則	118	10.6%	解雇・退職強要・契約打切	195	13.0%
	3位	解雇・退職強要・契約打切	104	9.4%	雇用契約・就業規則	116	7.7%
	4位	退職手続	93	8.4%	休業補償	82	5.5%
	5位	年次有給休暇	53	4.8%	退職手続	78	5.2%
情報源・ルート (不明除く)	新聞・雑誌	23	2.4%	新聞・雑誌	30	2.3%	
	ラジオ・テレビ	11	1.1%	ラジオ・テレビ	43	3.2%	
	ビラ・チラシ・パンフ(折込含)	35	3.6%	ビラ・チラシ・パンフ(折込含)	67	5.0%	
	ホームページ	675	69.9%	ホームページ	886	66.6%	
	SNS(フェイスブック・ツイッター)	20	2.1%	SNS(フェイスブック・ツイッター)	9	0.7%	
	紹介	90	9.3%	紹介	154	11.6%	
	その他	112	11.6%	その他	141	10.6%	

【参考】2021年7月 連合本部 インターネット労働相談受付件数122件(2020年7月:112件)